

神奈川研究会平成 26 年度活動報告および平成 27 年度活動計画

1. 平成 26 年度活動報告

- 1) 開催状況 12 回開催(内見学会 2 回)
- 2) 出席状況 会員出席率 60/72 85%(会員 6 名) ゲスト参加数 3 名
- 3) 研究傾向 エネルギー関係 5、原子力関係 1、環境関係 1、経営関係 1、その他 3
- 4) 研究課題

最近のメガソーラーの動向 化学工学でワインを美味しく「低炭素ナビ」を使って見たら
KT法マネージメント 世界の再生可能エネルギー並びに原子力発電の動向
放射性廃棄物の処理 人工光合成について 水素社会実現への課題 リチウム資源

5) 研究成果

会員が持ち回りで、研究テーマを発掘し発表。会員間で、幅広く意見交換を行った。
研究テーマは前年度と同様で、原子力を含めるとエネルギー関係が過半を占めた。
研究レポートについては、公表が相応しいものは、「SCE・Net の窓」のレポートとして成果を
掲載し、SCE・Net 会員への情報提供も行った。

2. 対外発表

- 1) 学会関西支部セミナーでの講演(12 月 16 日)
- 2) 化学装置巻頭言執筆(松村)(27 年 3 月号)
- 3) SCE・Net ホームページ 「窓」レポート掲載 4 件 エッセイ掲載 6 件
オピニオン掲載 1 件

会員のページ アーカイブス 神奈川研究会の内容の定期更新

2. 平成 27 年度活動計画

- 1) 研究の継続的発展
- 2) 研究会からの外部発信と活性化

毎月第 4 木曜日を研究会活動の日として、神奈川研究会の特徴である横断的テーマ、特にエネルギー・環境・資源を中心に研究を継続する。研究関連の見学等も適時取り入れる。また、メンバーの拡充も含めた研究会の活性化も図って行く。